

0歳の予防接種スケジュール

生後2か月になったら、ワクチンを受けましょう

0歳の赤ちゃんをVPD（ワクチンで防げる病気）から守るためには、生後2か月になったらできるだけ早くワクチンを受けることが大切です。

ワクチン名		誕生	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳
生ワクチン	ロタウイルス (注1)(注2)	定期無料		①	②	③ (※)								
不活化ワクチン	B型肝炎	定期無料		①	②					③				
不活化ワクチン	ヒブ	定期無料		①	②	③								④
不活化ワクチン	小児用肺炎球菌	定期無料		①	②	③								④
不活化ワクチン	四種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ混合)	定期無料			①	②		③						④
生ワクチン	BCG	定期無料							①					
生ワクチン	MR (麻しん風しん)	定期無料												①
生ワクチン	水痘 (水ぼうそう)	定期無料												① ②
生ワクチン	おたふくかぜ	任意有料												①


※3回目はロタテックのみです


ロタウイルス・B型肝炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合は、同時接種が可能です。同時接種すると、余裕をもってスケジュールを組むことができます。

1歳代の追加接種を忘れずに受けましょう。


1歳の誕生日が来たら同時接種で受けましょう。

(注2)ロタウイルスワクチンは2種類あります。
 ロタリックス (1価ワクチン)
 : 生後24週までに4週間隔で2回接種します。
 ロタテック (5価ワクチン)
 : 生後32週までに4週間隔で3回接種します。

 定期予防接種の対象年齢

 任意接種の接種できる年齢

 同時接種

 おすすめの接種時期 (数字は接種回数)
 ☆生ワクチン注射後、次に異なる種類の生ワクチン注射をする場合には、27日以上の間隔をあけて接種します。

同時に複数のワクチンを接種することができます。
 くわしくはかかりつけ医にご相談ください。

※この資料は「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会のホームページを参考に作成しました。